

- 5 - 2 福祉のまちづくり方針

<p>現行方針における施策概要</p>	<p>ユニバーサルデザインによる施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中市福祉のまちづくり条例に基づく公共的施設や道路・公園等市全体の施設整備の推進など ・高齢社会に対応した環境の整備 ・高齢者が生き生きと暮らせる地域づくりなど ・安心して子どもを生み、育てることができる環境づくり ・子育て支援体制の整備、地域における子育て環境の整備、子どもにとって安全で魅力にあふれた遊び場等の自然環境づくりなど ・障害のある人が社会参加や自立生活を実現できる環境整備 ・生活の場の整備、日中活動の場づくり、日常生活支援の仕組みづくり、ソフト面からのバリアフリーなど
<p>施策の主な事業実績・成果</p>	<p>「府中市交通バリアフリー基本構想(H16)」等に基づく駅及び駅周辺の主要な歩行経路のバリアフリー化等の推進</p> <p>重点整備地区である府中駅・府中本町駅周辺のバリアフリー空間をネットワーク化し、市の中心拠点としてだれもが安全に回遊できる環境形成に寄与</p> <p>駅へのアクセス動線のバリアフリー化のため、府中本町駅、西府駅南側、北府中駅構外及び分倍河原駅南側にエレベーターを設置</p> <p>京王線3駅(東府中駅、多磨霊園駅及び武蔵野台駅)の橋上化により、歩行者動線となる自由通路が整備され、駅周辺の交通安全性が向上</p> <p>「府中市福祉のまちづくり条例」に基づく民間建築物や開発区域内の公共施設のバリアフリーの促進</p> <p>開発事業における福祉的環境整備に係る指導を行い、敷地内や建築物のバリアフリー化を促進</p> <p>待機児童の解消に向けた保育所の整備支援</p> <p>新たに認可保育所を12か所整備</p> <p>複合福祉施設「いきいきプラザ」や子ども家庭支援センター「たち」の開設</p> <p>高齢者世代や子育て家庭を支援する拠点施設として整備</p> <p>障害者就労支援施設「御休み処」を開設</p> <p>障害のある人に接客業務等に従事してもらい、職業訓練の機会を提供するなど、就労支援を推進</p>
<p>残された課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中河原駅及び北府中駅周辺の利便性と安全性の向上が必要 ・働く親を支援するため、保育所の開設などによる待機児童の解消
<p>関連するまちの動向、新たな計画や社会潮流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿社会の形成に向けて健康づくりやスポーツ環境の整備への取組の推進 ・質の高い幼児期の教育・保育を提供するための体制の整備 ・連携協働による福祉のまちづくりに向けたユニバーサルデザインの推進
<p>改定に当たっての視点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿社会の形成に向けただれもが健康づくりやスポーツを楽しめる環境づくりの推進 ・子育て家庭に必要な保育サービスを提供するための保育サービス量の拡充による待機児童の解消

府中駅・府中本町駅周辺の主要な歩行経路のバリアフリー改修



府中本町駅への階段に整備されたエレベーター



市道のバリアフリー改修

崖線での昇降機の設置



車いすや自転車の昇降を支援するエレベーターの設置

駅の橋上化等によるバリアフリー



橋上化で整備された駅舎内の自由通路（東府中駅）

福祉施設の開設

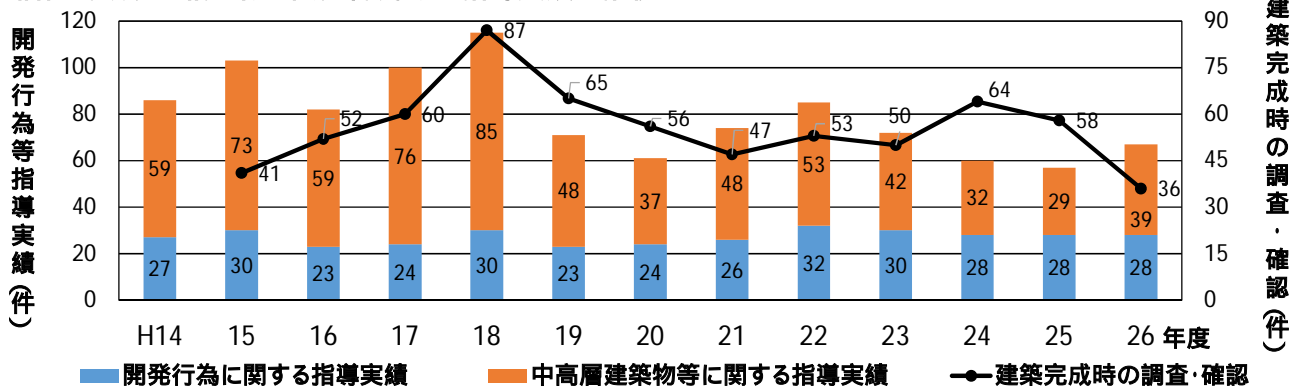


子ども家庭支援センター「たち」



障害者就労支援施設「御休み処」

【福祉的環境整備に係る開発行為等の指導実績の推移】



(資料:「事務報告書」府中市)

- 5 - 3 環境のまちづくり方針

<p>現行方針における施策概要</p>	<p>自然的環境の保全の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化の推進及び自然の確保など 都市活動に伴う環境負荷の軽減 ・廃棄物（ごみ）の減量の推進、自然及びエネルギーの有効利用、大気汚染の防止対策の推進、環境学習の推進、環境基本計画との整合性など
<p>施策の主な事業実績・成果</p>	<p>公園整備及び開発事業における緑地整備等による緑被地の増加 市内の緑被地は、平成 9 年以降、増加傾向にあり、都市公園や開発事業による緑地整備等により、平成 9 年から平成 20 年までの 11 年間に緑被面積で 12.31ha、緑被率で 0.42 ポイント増加</p> <p>府中市環境保全活動センターの開設 環境保全に関する学習の機会並びに交流及び活動の場を提供し、市民等が行う環境保全活動を支援するために開設</p> <p>府中市地球温暖化対策地域推進計画や府中市生物多様性地域戦略の策定 総合的な二酸化炭素等の排出抑制対策を進めるため、府中市地球温暖化対策地域推進計画の策定や、生物多様性の大切さについて、市民等に情報を提供するとともに、様々な生きものの生息空間を保全するために、府中市生物多様性地域戦略を策定</p> <p>リサイクルプラザの開設及びごみの指定収集袋による有料化 資源化対象品目を拡大し、選別機能の合理化を図るとともに、太陽光集光、屋上緑化、集じん、脱臭設備など、環境に配慮した施設に改修 平成 22 年 2 月から、家庭ごみの戸別収集及び有料化を開始し、ごみ収集量及び市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量が大幅に減少</p> <p>家庭等でのエコハウス設備設置助成などによる低炭素まちづくりの促進 平成 32 年までに CO₂ 排出量を平成 2 年度比で 15% 削減することを目標に対策を促進</p>
<p>残された課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地や都市農地などの民有地の既存緑地の減少 ・水田の減少に伴い、農業用水利用が減少しているため、水辺の保全が必要 ・民間企業や家庭における低炭素まちづくりの促進
<p>関連するまちの動向、新たな計画や社会潮流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市生物多様性地域戦略に基づき、市民との協働による生物多様性の保全に向けた取組の推進が必要 ・東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故を背景に、再生可能エネルギー等を活用した災害に強く環境負荷の小さいまちづくりが必要
<p>改定に当たっての視点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものの生息空間の確保など、生物多様性の保全に向けた取組の推進 ・低炭素型・循環型社会に向けたまちづくりの促進 ・太陽光発電システムや街路灯の LED 化などによる公共施設における地球温暖化対策の推進

公園・緑地の変化（府中市緑の基本計画 2009）

区 分	平成 10 年 3 月末		平成 20 年 3 月末		増減 面積 (ha)
	面積 (ha)	市域に占める割合 (%)	面積 (ha)	市域に占める割合 (%)	
都市公園、条例等の公園	168.14	5.73	180.68	6.16	12.54
都市公園	155.23	5.29	171.69	5.85	16.46
条例等の公園	12.91	0.44	8.99	0.31	-3.92
公共空地、生産緑地地区、保安林等	462.20	15.75	450.47	15.35	-11.73
社寺境内地、公開性のある緑地等	95.74	3.26	113.20	3.86	17.46
合計	726.08	24.75	744.35	25.37	18.27

（資料「府中市緑の基本計画 2009」）

緑被面積の推移



（資料「府中市緑の基本計画 2009」）

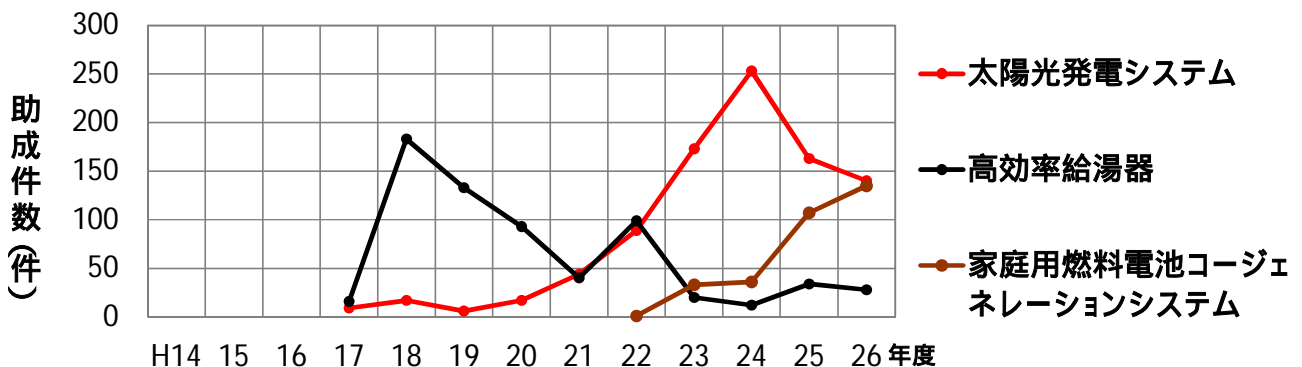
ごみの収集量の推移



（資料：府中市一般廃棄物処理基本計画）

（注）「緑地」とは、公園緑地等の都市施設とする緑地（都市公園、条例等の公園） 制度上安定した緑地（生産緑地地区、保安林等） 社会通念上安定した緑地（社寺境内地、公開性のある施設等）をいう。
 「緑被地」とは、上空から見たときに、樹木・樹林、草地、農地など、植物で覆われた土地のことをいい、市の面積に対する緑被地の面積の割合を「緑被率」としている。

【エコハウス設備設置助成の動向】



（資料：「事務報告書」府中市）

- 5 - 4 景観のまちづくり方針

<p>現行方針における施策概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歴史や文化を活かした景観づくり ・大國魂神社・けやき並木周辺、旧街道沿道（旧甲州街道、人見街道）その他の歴史的資源を活かした景観形成など 自然を活かした景観づくり ・国分寺崖線周辺、府中崖線周辺、浅間山周辺、多摩川沿川など 駅周辺、幹線道路沿道の景観づくり ・交流とにぎわいのある駅前での景観づくり、安全で快適な道路の景観づくりなど 住宅地の景観づくり ・落ち着いた住宅地の景観づくり、住宅地における自然環境を活かした景観づくり、地域と調和した大規模施設の景観づくりなど
<p>施策の主な事業実績・成果</p>	<p>大規模開発事業等の開発事業に際して景観協定等の締結を積極的に誘導し、地域特性に応じた良好な景観形成を誘導</p> <p>都市計画マスタープラン策定前は、府中市都市景観条例に基づく都市景観協定は2地区であったが、平成14年度以降、景観協定を16地区（計27.4ha・都市景観協定は5地区）で締結し、きめ細かな景観形成を誘導</p> <p>府中市景観条例に基づき6種類の景観ガイドラインを作成し、開発事業における景観調整や地区計画策定、景観協定の締結における指針として活用</p> <p>「中高層建築物等編」・「住宅地開発編」：中高層建築物等の建築及び住宅地開発を行う際の景観形成の考え方について、要素及び地域ごとの具体的な指針を示したもの</p> <p>「緑化編」：市内の緑化に関し、府中市緑の基本計画2009と府中市景観計画との整合を図り、緑を保全・育成・創出する際の景観形成の考え方について、要素及び地域ごとの具体的な指針を示したもの</p> <p>「屋外広告物編」：府中市景観計画の屋外広告物の表示等の制限に基づき、東京都屋外広告物条例や関係法令による基準に加え、景観に配慮すべき事項を示したもの</p> <p>「色彩編」：色彩景観の基本的な方針とともに、色彩景観形成の考え方や望ましい色彩の例を示したもの</p> <p>「歴史的建造物編」：歴史的建造物や史跡などの歴史的な景観資源を活かし、洗練された景観づくりを進めるために配慮すべき事項を示したもの</p> <p>市民参加により府中市景観賞を選定し、景観形成への意識啓発を促進</p> <p>平成21年3月～10月にかけて、第2回景観賞の募集・市民投票を含めた選考を行い、204件の応募の中から30件の景観賞を選定</p> <p>多摩地域の自治体で初めての景観行政団体</p> <p>平成20年1月1日、府中市が多摩地域では初めて（都内では世田谷区に次いで2番目）、東京都から景観法に基づく景観行政団体の指定</p>
<p>残された課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開発事業における土地利用調整と連携した景観調整の一層の促進 ・けやき並木などの府中固有の歴史的資源を活かした景観まちづくりの促進
<p>関連するまちの動向、新たな計画や社会潮流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」の施行により、良好な市街地の歴史的風致の維持向上への支援が必要 ・府中本町駅前での発掘・保存された遺跡など、武蔵国府関連遺跡の発掘・保存が進められており、府中固有の資源としての有効活用が必要
<p>改定に当たっての視点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的資源や文化・産業資源を活用した観光やシティプロモーションと連携した景観づくりの展開 ・まちの風景と調和した誘導サイン、標識などの検討 ・景観協定における管理・技術支援の検討

景観法に基づく 景観協定認可件数	景観法に基づく景観協定認可実績のある自治体
11 件	府中市
5 件	宮城県仙台市
3 件	茨城県つくば市、岐阜県各務原市及び大分県由布市
2 件	千葉県市川市及び滋賀県大津市
1 件	北海道旭川市、埼玉県さいたま市、埼玉県新座市、千葉県船橋市、千葉県流山市、千葉県浦安市、東京都杉並区、東京都八王子市、東京都三鷹市、東京都町田市、神奈川県相模原市、神奈川県平塚市、石川県七尾市、静岡県富士市、大阪府大阪市、大阪府堺市、大阪府茨木市、兵庫県姫路市、兵庫県西宮市、福岡県福岡市、福岡県久留米市、佐賀県唐津市、岩手県及び埼玉県

平成 27 年 3 月 31 日現在、景観法に基づく景観協定は、53 地区で認可済みであるが、そのうちの 11 地区（20.8%）が府中市によるものであり、景観法に基づく景観協定認可件数は、府中市が全国一となっている。

第 2 回景観賞受賞物件位置図



受賞 NO.	部門	名称	受賞 NO.	部門	名称	受賞 NO.	部門	名称
1	景観保全部門	郷土の森	11	景観保全部門	府中の森公園	21	景観創出部門	都立府中朝日特別支援学校
2	景観保全部門	浅間山	12	景観保全部門	東郷寺	22	景観創出部門	バス通りに生まれた潤い空間
3	景観保全部門	緑道・親水路	13	景観保全部門	やわたみち（八幡道）	23	景観育成部門	東京競馬場
4	景観保全部門	大國魂神社	14	景観保全部門	多磨霊園	24	景観育成部門	市民さくら祭り
5	景観保全部門	四谷のふるさと景観	15	景観保全部門	東京農工大学キャンパス	25	景観育成部門	熟成したまち並み～三本木通り～
6	景観保全部門	多摩川	16	景観保全部門	武蔵の森公園	26	景観育成部門	レンゲの育成・教育活動
7	景観保全部門	安養寺	17	景観創出部門	コスモアベニュー府中浅間町	27	景観改善部門	野口酒造店（中久本店）
8	景観保全部門	府中崖線	18	景観創出部門	熊野神社古墳	28	景観改善部門	府中刑務所の塀
9	景観保全部門	妙光院	19	景観創出部門	府中公園	29	審査員賞	住吉町5丁目地区のまちづくり計画
10	景観保全部門	馬場大門のケヤキ並木	20	景観創出部門	東京外国語大学	30	審査員賞	幸町2丁目地区のまちづくり計画

（資料：「第 2 回府中市景観賞記録誌」平成 22 年 3 月）

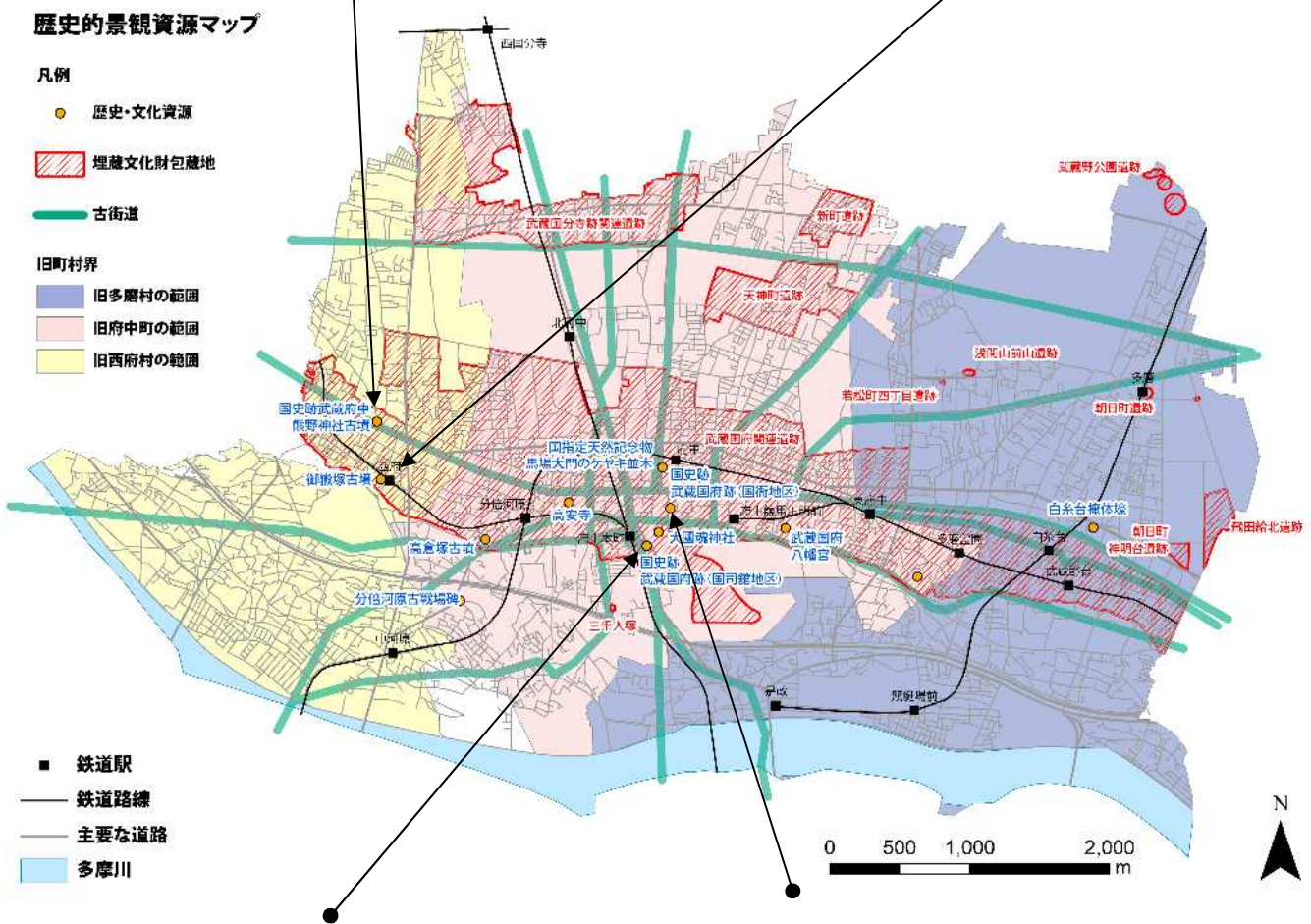
主な歴史資源の分布



平成 17 年に国の文化財に指定された「武蔵府中熊野神社古墳」



西府土地区画整理事業により公園として保全された府中市指定文化財「御嶽塚」



平成 23 年に国の文化財に指定された「武蔵国府跡〈国司館地区〉」

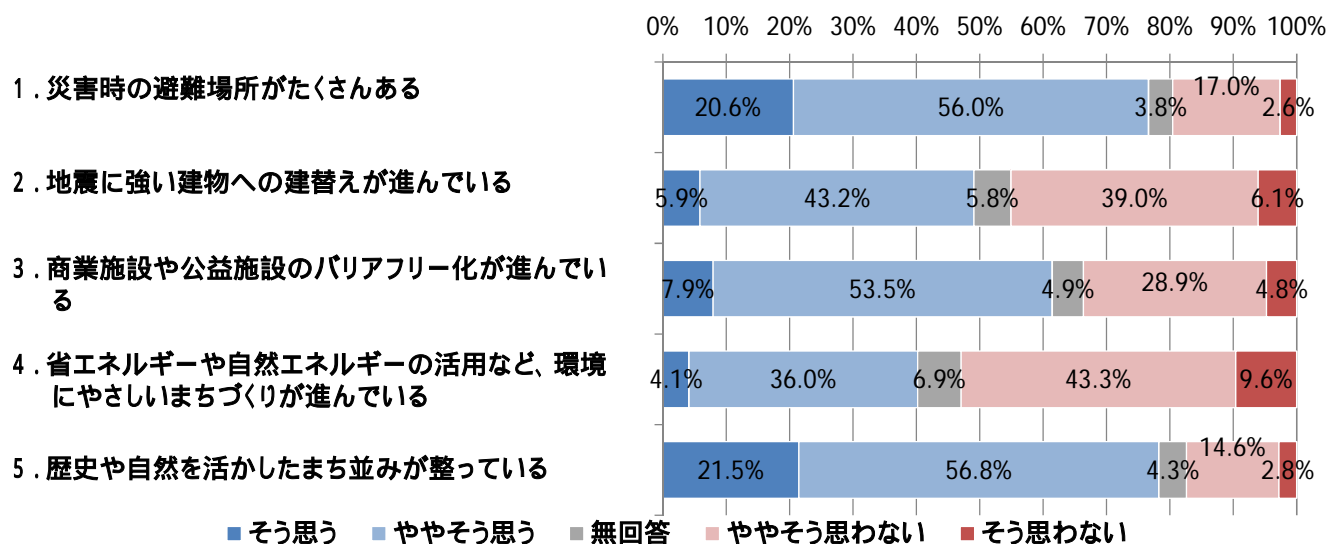


平成 21 年に国の文化財に指定された「武蔵国府跡 国衙地区」

<市民意識調査の結果から>「防災・福祉・環境・景観のまちづくり」についての印象

「1. 災害時の避難場所がたくさんある」「5. 歴史や自然を活かしたまち並みが整っている」と感じる人は、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、回答者の8割弱になっています。

「2. 地震に強い建物への建替えが進んでいる」「4. 省エネルギーや自然エネルギーの活用など、環境にやさしいまちづくりが進んでいる」と感じる人は、相対的に少なくなっています。



回答数: 1,426